



PF 家庭犬マナーテスト ルールブック

2018年10月1日 改

受験資格

- 畜犬登録がされている(飼主が鑑札を持っている/犬が装着している)
- 必要なワクチンが済んでいる
 - 年に1回以上狂犬病ワクチン・混合ワクチンを接種
- 適切なグルーミングがされている
- 健康な犬である/治療内容や病状を飼主がきちんと把握している
- 受験時に犬が12ヶ月齢以上である(12ヶ月齢未満の合格であれば仮認定とする)
- (雌犬のみ)ヒート期間ではない

失格項目

- 試験項目で「×」がついた場合
- 他の人を見て3回以上の連続的な吠え/唸り等が見られた場合
- 他の犬を見て3回以上の連続的な吠え/唸り等が見られた場合
- 吠えが10回以上見られた場合
- 試験中に排泄が見られた場合
- 試験中に3回以上の飛びつき(人/モノも含む)が見られた場合
 - ※ 飛びつき…犬のどちらかの前肢が対象に触れること
- (雌犬のみ)ヒートの把握がされていない場合
- オフリード(手からリードが離れること)が確認された場合
- テスト会場から見える範囲で
 - 犬に矯正・罰・乱暴なトレーニングが施されている場合
- 装着されている犬具が締めきり状態だった場合
- ジャッジが犬のコントロールが不能になっていると判断した場合
 - 又は試験続行不可能と判断された場合
- 本試験の指定時間内に遅刻・無断欠席した場合

注意事項

- 試験中のトリーツ/おもちゃ(周囲の状況を見て使用)の使用は可とする
 - ただし、指定された項目に関しては使用を制限する場合がある
 - 詳細は各項目を参照
- 試験は1頭ずつ行う

審査基準

- ✓ 試験時テスト項目が「×」と判断された場合、失格となる
- ✓ 85/100 で合格とする（○…15 個・△…5 個）
- ✓ コマンドは各項目 3 回までとする、それ以上は「×」採点となる
 - 声の合図と手の合図はそれぞれカウントする。
同時に出した場合は 1 回とみなす。
- ✓ ○…5 点 △…2 点 ×…0 点(失格)
- ✓ 基本的に飼い主の姿勢は問わない(座れ・伏せの項目は除く)
- ✓ 犬具は予め締まらないようにしておく

他

- ✓ 試験時間…1 組 30 分程度を想定・解説含
- ✓ 犬の馴致や休憩等も含め 1 組辺り 1 時間の時間を取る
- ※ 当日のスケジュールを参照

試験料金

- ✓ \1,000(税抜)

1. (犬への理解) 他人との会話中での犬の様子(口頭質問・事前申告・手入れくじ引き)

[審査]: ジャッジと約 1.5m 離れ、口頭での質問に答える。また、お手入れ項目のくじを引く。

[審査ポイント]: 失格項目をしない・同じ姿勢を指示しなくても良い



- 犬の様子を答えることができる/答え方に迷いがある/回答できない
- 犬のコントロールができていない/ややコントロールできていない/できていない

2. (他人との関わり) 他人が犬を触る

[審査]: ジャッジが犬に近づき、犬へ触れる。飼主は触らせる上での注意点があれば指示できる。

[審査ポイント]: 失格項目をしない・同じ姿勢を指示しなくても良い



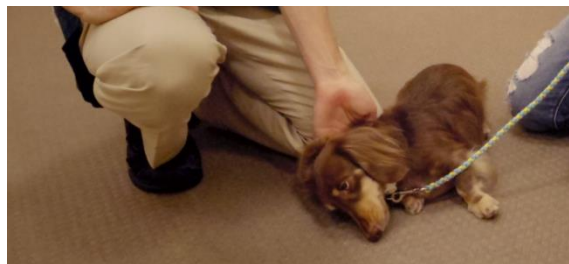
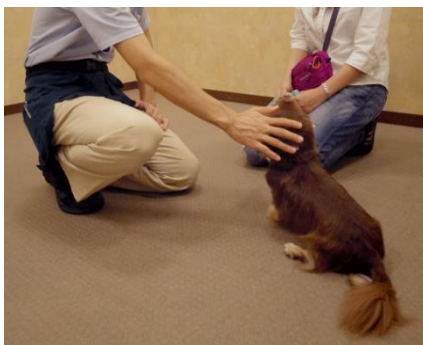
- 触る上での注意点や指示が的確である/やや注意が甘い/明らかに注意が足りない
- 他人が触ることが出来る/なんとか触れる(嫌がるが受け入れている)/触れない

3. (他人との関わり) 他人からの健康チェック

[審査]: 他人が犬の目・耳・口・背中(毛並み)・足先・肛門周りのチェックをおこなう。

[審査ポイント]: 失格項目をしない

- 問題なく受け入れられる/なんとか受け入れられる/受け入れられない



4. (散歩) 飼い主の横を引っ張らずに歩く

[審査]：約 3m 幅のラインを犬と一緒に往復する。

[審査ポイント]：失格項目をしない・人の左右どちらを歩いても構わないがどちらか決めておく



- あらかじめ飼主が決めたポジションでリードを緩ませたまま横について歩くことができる/張ってもすぐ戻ることができる/戻すことができない・3回以上戻す行為が見られた

5. (散歩) 犬を連れた人とすれ違う

① 無言ですれ違う

[審査]：約 1 m 離れた場所を歩く、犬を連れた他人と無言ですれ違う。

[審査ポイント]：失格項目をしない・他人は連れている犬を外側にし、飼主側を歩く。



- あらかじめ飼主が決めたポジションでリードを緩ませたまま横について歩くことができる/張ってもすぐ戻ることができる/戻すことができない・3回以上戻す行為が見られた

② 挨拶を挟む

[審査]：約 1 m 離れた場所を歩く、犬を連れた他人とすれ違う。途中で止まり挨拶をする。

[審査ポイント]：失格項目をしない・他人は連れている犬を外側にし、飼主側を歩く

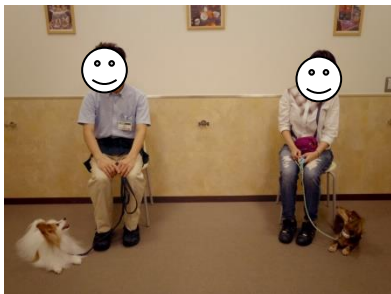


- あらかじめ飼主が決めたポジションでリードを緩ませたまま横について歩くことができる/張ってもすぐ戻ることができる/戻すことができない・3回以上戻す行為が見られた

6. (動物病院の待合室・テーブルマナー) 人&犬の近くで待つ

[審査]：犬を連れた他人の近く(約 2m)でイスに約 1 分間座る。30 秒経過時に、飼主が近くに置いてあるジャッジに指示された物をつかみ動かす。

[審査ポイント]：失格項目をしない・落ち着いていれば犬の姿勢は問わない

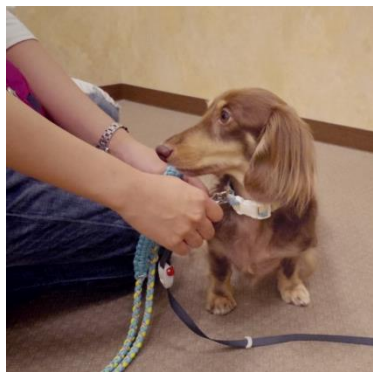


- テーブルマナーとして落ち着いて待つことができる/やや抵抗を示す/できない
- 他人・他犬への反応はない/やや反応を示す/かなり気にする様子がある

7. (基本的な合図) おいで

[審査]：3m 程度離れた場所から呼び戻しをおこなう。その間、他人がロングリードを持つ。
他人からロングリードを受け取り付替え→離れる(自分のリードと一緒に持っていく)
→呼び戻し→自分のリードへ付替え

[審査ポイント]：飼主は立った姿勢で行う・ノーリードにしない・失格項目をしない



- リード着脱が問題なくできる(30 秒以内)/やや抵抗を示す/付け替えることができない(60 秒以上)
- おいでで来ることができる(30 秒以内)/少し迷いがある・飼主との距離がある/来ない(60 秒以上)

8. (基本的な合図) 座れ・伏せ

[審査]：飼主の前で犬に合図を出し、約 10 秒間維持。約 5 秒後に他人が 1m 程度後ろを歩く。

[審査ポイント]：飼主は立った姿勢で行う・コング等の知育玩具の使用不可・失格項目をしない

- 1 回の合図で「座れ」ができる/2 回目の合図でできる/できない
- 待つことができる/5 秒以上経ったところで動く/待つことができない



- 1 回の合図で「伏せ」ができる/2 回目の合図でできる/できない
- 待つことができる/5 秒以上経ったところで動く/待つことができない



9. (その他) 係留(他人にリードを預ける)待機

[審査]：他人が飼主からリードを預かり、1 分間程度、飼主は姿を隠す。

[審査ポイント]：失格項目をしない



- 1 分間待つことができる/鼻鳴き等の反応が見られる/待つことができない(吠える/暴れる/落ち着く様子が見られない)

10. (お手入れ) 日常のお手入れを受け入れる

[審査]: [ブラシ・足拭き・顔周りを拭く・耳掃除・歯磨き(シート)(片側全面)・犬具の着脱]の中から2項目を試験開始時のくじで選択。飼主が犬にお手入れをする。

[審査ポイント]: 失格項目をしない・飼主の姿勢は問わない

- ▶ ブラシ…背中/胸/耳後ろ/四足全ての先端までブラシがかけられる



- ▶ 足拭き…四足全てをウェットティッシュで拭くことができる



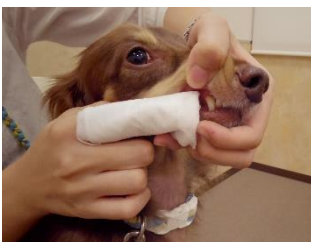
- ▶ 顔周り…目の周り/口の周りをウェットティッシュで拭くことができる



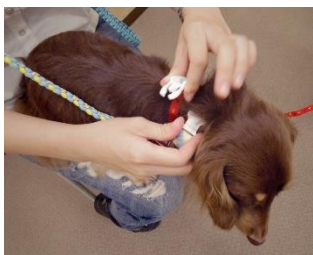
- ▶ 耳掃除…両耳をウェットティッシュで拭くことができる



- ▶ 歯磨き…歯磨きシートを使って片面全て行える



- ▶ 犬具着脱…用意したリードに繋げた上で自前のカラーの着脱を行うことができる。
他人が輪にしたリードを犬の首にかけた状態でおこなう。



- 問題なくできる/なんとかできる(少し嫌がるが受け入れる)/できない

11. (その他) クレート待機(3分間)

[審査]：犬をクレートに合図で入れ、飼主は会場から約3分間離れる。

[審査ポイント]：クレートのカバー利用・コング等のおもちゃ使用は可

- ・クレートに入れる/出す際に唸り等がない
- ・クレート出入りの際にオフリード状態にしない(クレート内で外すのは可)
- ・鼻鳴き/クレートを掘る等があった場合は減点とする

- クレートへの出入りが問題なくできる/やや抵抗を示す/出入りができない
- 大人しく待機することができる/鼻鳴きや掘る等の反応が見られる/待機できない



